

アメリカシロヒトリの防除対策について

平成 27 年 5 月

JA 中野市園芸技術課

5 月中旬からアメリカシロヒトリの越冬世代が発生しています。下記を参考にして、密度が高くなる前から計画的に防除を進めてください。尚、地域によっては効果が著しく低下している薬剤もありますのでご注意ください。

1. 防除時期

- ・ 若齢幼虫期に防除するのが最も効果的。
- ・ 老齢幼虫になると発生密度が高くなり、葉を暴食するので薬剤による防除は困難になる。
- ・ 孵化直後の幼虫は巣網を張って群生し、葉脈を残して葉を食べるため、被害葉は透けてみえる。次第に巣網は大きくなり、目につきやすくなり、その後、幼虫は分散する。

以上の特性から 3 段階に分けて防除することが効果的である

- ・ 越冬世代幼虫…5 月中旬～6 月上旬頃発生
- ・ 第 1 世代幼虫…6 月中旬～7 月上旬頃発生
- ・ 第 2 世代幼虫…8 月上旬～9 月上旬頃発生

2. 薬剤防除について（下記の薬剤は全て JA で取り扱っています）

時期	薬剤名	倍率	適用
5 月中旬～ 6 月上旬	フェニックスフロアブル（ジアミド系）	4,000～6,000	果樹類
	サムコルフロアブル 10（ジアミド系）	2,500～5,000	果樹類
	モスピラン顆粒水溶剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000	果樹類・野菜類
	バリアード顆粒水和剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000	果樹類・野菜類
6 月中旬～ 7 月上旬	スミチオン水和剤 40（有機リン系）	1,000	果樹・野菜・樹木
	ダイアジノン水和剤 34（有機リン系）	1,000	果樹・野菜・樹木
	ディアナ WDG（スピノシン系）	5,000～10,000	果樹類
	ディアナ SC（スピノシン系）	2,500～5,000	野菜類・花き類
	アディオフロアブル（合成ピレスロイド）	1,500	果樹類
	トレボン乳剤（合成ピレスロイド）	1,000～2,000	野菜類・樹木類
8 月上旬～	バイスロイド EW（合成ピレスロイド）	2,000	果樹類
	アディオフロアブル（合成ピレスロイド）	1,500	果樹類
	アーデントフロアブル（合成ピレスロイド）	2,000	果樹類
	イカズチ WDG（合成ピレスロイド）	1,000	果樹類
	アーデント水和剤（合成ピレスロイド）	1,500	果樹類・野菜類
	トレボン乳剤（合成ピレスロイド）	1,000～2,000	野菜類・樹木類

◆ 注意事項

- ① 有機リン系のダイアジノン水和剤やスミチオン乳剤だけでは、効果が発現しにくい場合もありますので、ジアミド系殺虫剤（フェニックス F やサムコル F 他）も併せて使用すると効果的です。
- ② 多発時（盛夏期）は薬剤効果が著しく低下するので、その場合は速効的にかつ残効が長い合成ピレスロイド剤を使用してください。
- ③ 定期散布や特別散布を実施する場合は、年間の使用回数制限に注意してください。
- ④ 各農薬使用の際は、ラベル等をよく確認し、使用規制・回数等を遵守してください。